

第6回：貢献とは

会長 田中 仙堂

社会貢献という言葉をよく耳にするようになりました。
ボランティア、慈善活動などといわれても、自分にはできないと思われる方のほうが多いでしょう。

一方、貢献とは、相手のことを思うことが基本になります。それならば、客になったら亭主のことを、亭主になったら客のことを思うことを教えられている茶道人には、得意な分野のはずです。

茶会の手伝いをして、大勢の市民を茶会に招いても、ボランティアとか、慈善活動を行ったとしても、周囲からは評価してもらえないことも多いかもしれません。それは、茶道が、ボランティアや慈善活動という言葉が生まれる前からの文化活動なので、後から生まれた言葉では、定義されにくいのだ、と考えたらどうでしょうか。

また、たった一人の人に一杯のお茶を差し上げたのでも、それで相手にお茶が良いものだと思ってもらえたら、それも「茶道文化への貢献」です。

自分のできる範囲での貢献を見つけ実践することが大切です。

平成 25 年 8 月 発行 会報「えんじゅ 76 号」掲載